

鳥取県の中高生の喫煙、飲酒行動及び生活習慣に関する実態調査



尾崎米厚(鳥取大学医学部環境予防医学分野)、野津あきこ(鳥取短期大学生活学科食物栄養専攻)

【目的】鳥取県の中高生の喫煙、飲酒行動及び生活習慣の実態を明らかにし、全国調査の結果と比較し、鳥取県の特徴と課題を明らかにする。さらに、鳥取県による健康づくり文化創造プランの最終年度の評価指標を提出する。

【方法】鳥取県下のすべての中学校、高等学校に調査を依頼した。回答校は、中学5校、高校12校で調査回答率は中学7.9%、高校は38.7%であった。有効調査票数は3,575通(中学580通、高校2,995通)であった。調査は、無記名の自記式アンケートで、学校の教室内で実施した。調査項目は、以前に実施された全国調査を参考に鳥取県独自の項目を加えた。



1. 喫煙率
 中高生の現在喫煙率(この30日間に1日でも喫煙したもの)は、男子では、中学1年では0%であったのが、中学2年で2.0%、中学3年では5.3%となり、高校1年では0.9%となり、高校2年で5.4%、高校3年では7.0%であった。女子では、それぞれ、0%、1.1%、0.9%、1.3%、1.7%、3.3%であった。これは、県計画のベースライン値より低下したが、全国調査結果と比較すると鳥取県のほうが男子では中学3年で女子ではすべての学年で高い傾向があり、高校では男女とも低学年で低い傾向があった。今回の調査の回答の偏りを勘案すると、鳥取県の高校生の喫煙率は全国並みであると推察されるが、中学生の喫煙率は鳥取県のほうがむしろ高い可能性がある。

2. 喫煙行動
 喫煙経験年齢は、男女とも小学校高学年以降であった。喫煙本数は男女とも多い者は多くはなかった。タバコの入手方法は、男子ではコンビニ等の店、自動販売機、もらった、が多かった。女子では、もらった、コンビニ等の店が多かった。現在喫煙者の男子の39.0%、女子の41.7%が買う時に「年齢確認が厳しくなった」と答えた。タバコの値段が高くなったとした者は、男子の43.9%、女子の41.7%であり、タバコ価格の上昇は一定程度の効果があるものと思われる。禁煙の希望をみると、禁煙の取り組みを既にしたことのあるもの(男子23.1%、女子20.0%)、止めたいと思うもの(男子20.5%、女子31.4%)など、止めたいものが多かった。禁煙治療を受けたいとする者も男子の23.1%、女子の5.7%にみられた。この7日間での家での受動喫煙曝露日数をみると、0日が男子の72.4%、女子の69.1%を占めるが、男子の13.6%、女子の16.6%は、毎日と回答していた。

3. 飲酒率
 現在飲酒率(この30日間で1日でも飲酒したものの割合)は、男子では、中学1年、12.9%、2年では13.1%、3年では27.4%であり、高校1年では17.8%で、高校2年で27.8%、高校3年では26.2%であった。女子ではそれぞれ、11.8%、11.6%、19.6%、21.0%、26.8%、27.4%であった。高校1年と3年では女子のほうが高かった。全国との比較では、鳥取県の中学生および高校3年の経験率のほうが高かった。現在飲酒率は、男女、中高とも鳥取県のほうが高かった。

4. 飲酒行動
 現在飲酒者のうち飲酒するときの量が多い人(コップ6杯以上+酔いつぶれるまで)は、男子7.1%、女子5.1%であり、高校で高かった。この割合は全国よりは少なかった。よく飲むお酒の種類は、男女とも果物味の甘いお酒が多く、次いで焼酎・サワー、ビールが多かった。酒の入手方法をみると、家にあるお酒が多く、次いでコンビニ等で買う、もらう、居酒屋などで飲むが多く、女子のほうが積極的な方法で入手していることがうかがえた。この30日間で酒を売ってもらえなかった経験を尋ねると男子の5.6%、女子の2.7%が時々売ってもらえなかったと回答し、男子の11.6%、女子の8.4%はいつでも売ってもらえたと回答した。酒はタバコに比べ中高生は買わない(家にある酒を飲む)が、買う人はタバコよりも容易に手に入れられているようである。現在飲酒者のうち、お酒による失敗経験が多いのは、吐いた、記憶がなくなった、親に叱られた、であり、多くの者が失敗を経験しており、男女差があまりなかった。

5. その他の生活習慣、症状等
 朝食を毎日食べないものは男子の13.8%、女子の10.5%にみとめられた。ダイエットを現在していると回答したのは男子の2.8%、女子の18.6%であった。サプリメント使用者(利用している+時々利用)は、男子の28.7%、女子の27.3%であった。主な症状を尋ねると、「しばしばある」の多い症状は、体のだるさ、疲れやすさ、イライラする、やる気が起こらない、朝起きにくい、頭痛等であり多くの中高生が様々な症状を訴えていた。睡眠の自己評価が低い者の割合(かなり悪い+非常に悪い)をみると、男子の48.1%、女子の48.0%であった。

鳥取県の中高生の喫煙と飲酒を取り巻く問題は多く、今後の取り組みが重要である。